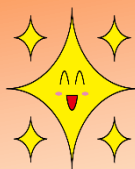


地域支援だより

きらりNet



令和3年5月28日

第113号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

自立活動の指導について ～どうやって指導目標を立てるの？～

各教科等は目標や内容が学習指導要領に規定されているのに対して、自立活動は個々の実態に応じて指導目標や内容が設定される、オーダーメイドの指導です。そのため、「なぜその指導目標なのか」という根拠が大事になります。

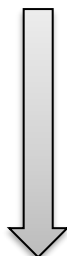
自立活動は、障害による学習上又は生活上の困難の改善や克服を目指した指導です。

- ◆【例】脳性疾患をもつAさん。その障害により、学習や生活をする上で、どのような困難さが生じるのか？（困難さの背景）



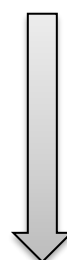
- ・上肢の可動域が狭くて、物を握ったり操作したりすることが難しい。
- ・たくさん書かれた教科書の文字や図形の中から必要な部分に注目することが難しい。

- ◆こんな風に改善・克服すると、学びやすく、生活しやすくなるのでは？（設定理由）



- ・補助具を工夫してみよう。ICTの活用もどうか。作業療法士（OT）の助言も受けたいな。一人でできることが増えるのでは？
- ・困ったときに支援を待っているだけでなく、自分から声を出せたいな。何をどう困っているのか、具体的に話せたらもっといいな！

- ◆1年間で、ここまでの達成を目指そう！（具体的な指導目標設定）



- ・いろいろな補助具（ICT活用も含めて）から、自分に合ったものを見つけて、使い方を習得しよう。
- ・教科書の中で注目する箇所が見つけられないときは、具体的に教えてもらおう。自分から依頼できるようにしよう。

- ◆項目の選定、具体的な内容、手立てを考えるに当たって、考慮しましょう！

- ・児童生徒が主体的に（ここが大事です！）取り組めるよう、現在できること、得意なこと、興味関心のあること等を生かすという視点を大事にしましょう。
- ・児童生徒自身が目的意識をもって、やったことを自分で評価でき、学んだことを進んで活用（他の勉強のときにもこの方法を使ってみよう）するような指導目標や内容か、確認しましょう。自己理解にもつながる視点です。

（文責：藤原 恵理子）

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

日々の学習活動より ～小学部3年生 自立活動の実践紹介～

将来に向けてどんな力を付けていくのか。本人の希望を尊重して自立活動の指導目標・学習活動を設定しました。

本人の希望

中学部や高等部になったら友達同士で買い物に行ったり、映画館に行ったりしたい。



そのために、自立活動としてどんなことを頑張るのか

指導目標 移動や身の回りの色々なことを、依頼しながら自分の力で行う。

学習活動

- ・階段の上り下り
- ・トイレ（拭き取りを一人でできるようにする）
- ・ウォーカーで安全に歩く、距離を伸ばす

☆上記の学習活動のうち、階段の上り下りについて紹介します。

3年生の4月から登校時に、手摺りを使いバスを降りる練習を始めました。（2年生までは、手引き歩行で降りていました。）



手摺りを使用してバスのステップを安全に降りることができるように、階段での歩行を学習しています。



教育専門監のコーナー

【児童生徒の豊かな学びと育ちのために】

【児童生徒の「思い」】

- 児童生徒の「いま」の思いは、これまでの本人の経験を踏まえた「ものの見方」や「受け止め方」の表れ
- 児童生徒はどう「ありたいのか」、どう「なりたいのか」という「思い」を捉えることが大切

【言語活動の充実～「活動」「体験」を「経験」に～】

- 「活動」や「体験」の機会を大切にするとともに、振り返りによる「言語化」や「対話」によって、確かな「経験」につなげることが大事
- 「できたこと」「できなかったこと」だけでなく、「しようとしたこと」や「思ったこと」に着目
- 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の状態の把握

参考：「児童生徒のキャリア発達支援及び教員のキャリア形成の観点から」

弘前大学大学院 教育学研究科 教授 菊地一文

《私の大切な時間》

自分が描く夢に向けて、どうありたいのか、何ができるのか、児童の「思い」を形にしていって小学部自立活動の実践。大切にしているのは、様々な体の使い方を学ぶ中で、自分が「しようとしたこと」や「思ったこと」に目を向け、いまの「思い」を自分の言葉で表し、「活動」を確かな「経験」として積み重ねていくこと。児童は、豊かな学びの中で、今はまだ難しいことに向かう姿勢を喜んでくれる人がいることや自分と同じように頑張ろうとする人がいることに気付いていきます。「思い」を形にしていって自分の行動が周囲に大きな意味を与えることに気付く、「私の大切な時間」となっていきます。

〈文責：二階堂 悟〉



◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。
教頭 高橋 省子 地域支援部主任 大友 明希子

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘1丁目1番1号

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>